

光と緑の風通信

発行/2014年10月31日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒960-1295 福島市光が丘1番地 Tel.024-547-1111 (代)

新入生の皆様へ

看護学部長
看護学研究科長 真壁 玲子

看護学部そして看護学研究科へご入学の皆さん、おめでとうございます。

このニュースレターが発行される頃、皆さんが入学されてから既に半年経過し、光が丘のキャンパスも美しい紅葉の頃と思います。さて皆さんの学生生活は、いかがでしょうか?大きな夢を描き、高い目標を立てて入学されたことと思います。この看護学部は、1998年4月に開設された現在も福島県内唯一の看護系大学です。2011年3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う原発事故からの復興への支援に長期にかかわる必要があり、今まで以上に「質の高い看護」が求められています。

看護学部入学の学部生は、看護学の専門的な知識や技術を習得し、チーム医療の一員として看護職の役割を果たせる看護専門職となり、看護実践に関する教育と研究を探究しリーダーとしての役割を果たせるように、また看護学研究科入学の大学院生は、看護専門分野の知識や実践を深めていただきたいと思います。そして、それぞれの目標達成の道を創ってください。

私が最近読んだ本、渡辺和子氏の「置かれた場所で咲きなさい」の中から一節をご紹介します。

「目標を立てることはやさしくても、達成への道のりは険しく、倒れることもあるでしょう。でも、歩き続けること、倒れたら立ち上がって、また歩き続けることが大切なのです。・・・時には立ち止まって休んでもいい。再び歩き出せるかが、目標達成の別れ道。」

それぞれの目標に向かって、いろいろな人と出会い、いろいろな経験をし、自分の道を創造してください。大いに学び、楽しみ、充実した学生生活となりますように期待します。

(まかべ れいこ)



学部生

藍原 みく ○ あいほり みく 学部生

私は医療を通して国際貢献がしたいという夢がある。また語学を通して、看護の知識もたくさんい...

阿部 絵里香 ○ あへ えりか 学部生

私は震災を経験して、人の役に立ちたいという気持ち...

阿部 知華 ○ あへ ともか 学部生

私の夢は保健師になること。入学以前から地域医療...

荒井 知美 ○ あらい ともみ 学部生

私は、がん看護専門看護師になることを目指しています...

安藤 文香 ○ あんどう ぶんか 学部生

患者さんの一番近く寄り添って身体面と精神面を...

石井 明日香 ○ いしい あすか 学部生

私は看護師を目指すきっかけとなった看護師の...

遠藤 綾乃 ○ えんどう あやの 学部生

私は、少子高齢社会である今の日本で必要なのは...

遠藤 裕子 ○ えんどう ゆうこ 学部生

私は看護師になることを夢みてこの学校に入学し...

高橋 菜津音 ○ たかはし なつね 学部生

私は中学生の頃から海外協力隊に憧れており、看護...

高橋 菜津美 ○ たかはし なつみ 学部生

医師と対等に渡り合える看護師になりたい。欧米諸...

田村 陽子 ○ たむら ようこ 学部生

保健師になり福島県民の健康に貢献したいと考えて...

常松 夏季 ○ じょうまつ なつみ 学部生

私の母は、現在訪問看護師として働いています。その...

戸田 愛実 ○ とだ まなみ 学部生

私は患者と最も近い存在として療養上の世話ができる...

栃久保 朝陽 ○ とちくほ あさひ 学部生

私の将来の希望は、手術の補助をする仕事に就きたい...

長尾 明日加 ○ ながお あすか 学部生

福島県立医科大学看護学部看護師免許はもろろんの...

中川 優 ○ なかがわ ゆう 学部生

私の地域に貢献する保健師になりたいです。自分...

長澤 幹久 ○ ながさわ かんく 学部生

中学生の頃私はあの大きな災害がある。1年を経験...

大川原 みぎ ○ おおかわら みぎ 学部生

私はこの大学を卒業したら地元病院や保健所に就職...

大村 静花 ○ おおむら しずか 学部生

私は、小学一年生のときに一度入院しました。その...

岡崎 朗子 ○ おかざき あり 学部生

看護体験に参加した時、実際に看護師の姿を見て、...

小笠原 しおり ○ おがさわら しおり 学部生

私は将来、海外の医療に携わりたいなと思っていま...

奥山 遥香 ○ おくやま はるか 学部生

私の将来の夢は、看護師として福島県で働くこと...

柿沼 はるか ○ かきぬま はるか 学部生

私は将来、海外で看護師として働きたいと考えてい...

加藤 朱香音 ○ かとう あかね 学部生

私は将来、自衛官になりたいです。理由は、人の...

神藤 リサ ○ かんどう りさ 学部生

私の夢は世界中の人に希望をあたえ、未来の医療に...

長峯 さおり ○ ながみね さおり 学部生

私は大学を卒業したら、入学当初から看護師として...

中村 美那 ○ なかむら みな 学部生

会津の実家から通いやすい距離感あり、かつ県立医...

一階堂 礼菜 ○ いかいどう れいな 学部生

終末期医療の場は病院だけでなく、自宅で家族に囲...

西山 沙玖良 ○ にしやま さくはら 学部生

東日本大震災により、福島県は大きな被害を受け...

橋本 美咲 ○ はしもと みさき 学部生

私は自分の長所が笑顔であること、命に関わる仕事...

原田 美和子 ○ はらだ みわこ 学部生

私は看護の勉強を始めて改めて看護師は患者さんと...

久野 智子 ○ ひくの ともこ 学部生

私は小さい頃から看護師になりたいと考えており、...

廣田 慧子 ○ ひろた けいこ 学部生

私は将来地域医療の現場で働く看護師になりたい...

藤田 ひかり ○ ふじた ひかり 学部生

私は患者さんの身体だけでなく心もケアできるよう...

倉澤 まりあ ○ くらさわ まりあ 学部生

私の将来の夢は、福島県医療従事者となり、福島で...

黒澤 亜由美 ○ くろさわ あゆみ 学部生

私の将来の目標は、生まれ育った福島県の復興や医療...

小玉 安佳里 ○ こたまたま あかり 学部生

私は将来地元に戻り保健師として働きたいと思っ...

小林 千晃 ○ こばやし ちあき 学部生

私は将来助産師として福島の地域医療に携わりたい...

小松 亜樹 ○ こまつ あき 学部生

私は、将来看護師になりたいという夢がありいま...

小峰 華帆 ○ こみね かな 学部生

私の弟が発作で倒れた時、弟の処置を速やかにして...

小山 瑞貴 ○ こやま みずき 学部生

地元をくまなく看護師助産師として働き、医療面での...

近藤 香奈 ○ こんどう かな 学部生

私は人の笑顔が好きです。世界中の人が笑って毎日...

近藤 佐知子 ○ こんどう さちこ 学部生

私の夢は、助産師となることです。助産師として、生...

藤成 希 ○ ふじなり のぞみ 学部生

私は将来福島県で看護師として働きたいと思っ...

星 歩 ○ ほし あゆみ 学部生

私は小さい頃から看護師の母を見てきました。母は...

星 光里 ○ ほし ひかり 学部生

私は将来、医療従事者として福島県に貢献したい...

二木 梨々香 ○ ふきのりりか 学部生

私は将来、看護師になって福島県で働きたいと思...

武藤 優季 ○ むとう ゆき 学部生

私は将来、生命の誕生に真摯に向き合える助産師に...

村 ひかる ○ むら ひかる 学部生

私は子供や赤ちゃんと好きである。そして、人の役に...

村山 日南子 ○ むらやま ひなこ 学部生

私は明確な将来像がまだありません。こんな職に就...

室井 真衣 ○ むらい まい 学部生

私は小さい頃から夢であった看護師になり、多くの...

森川 真瑠美 ○ もりかわ まるみ 学部生

私は保健師という立場から県民の健康を促進してい...

酒井 はる奈 ○ さかい はるな 学部生

私は授業で看護の技術やコミュニケーション能力等...

酒井 麗緒 ○ さかい れお 学部生

私の将来の目標は、自分の仕事を確実にやり遂げら...

佐藤 成美 ○ さとう なるみ 学部生

私は将来、地元である福島の子ども達を支えられ...

佐藤 晴香 ○ さとう はるか 学部生

私は助産師として医療現場で活躍したいと考えて...

佐藤 耀 ○ さとう ひかる 学部生

私は将来、助産師になりたいと考えています。昔弟...

佐藤 裕美 ○ さとう ゆみ 学部生

私の理想の看護師像は、病気で苦しむ子供達を笑顔...

佐藤 里穂 ○ さとう りほ 学部生

私は地元である相双地区の復興発展に貢献したいと...

森藤 夏帆 ○ もりとう かほ 学部生

私は一人でも多くの人から必要とされる存在になり...

谷ヶ城 利佳 ○ やがしろ りか 学部生

私は震災を機に看護師になることを決意しまし...

安田 美沙都 ○ やまだ みさと 学部生

地元の高校を卒業し、地元で大学に入学した私は...

山城 果菜子 ○ やましろ かなこ 学部生

震災を様々なメディアで知り、災害が起きた際に...

湯田 若菜 ○ ゆた わかな 学部生

私は命を守るという責任感を持ち、患者さんに寄り...

山室 あゆみ ○ やまむろ あゆみ 学部生

私は一人でも多くの人から必要とされる存在になり...

横須賀 ちひろ ○ よこすか ちひろ 学部生

私の将来の夢は看護師になることです。なぜなら私...

横山 阿志奈 ○ よこやま あきな 学部生

私は将来保健師になりたいと思っています。私の母...

若林 みなみ ○ わかばやし みなみ 学部生

私は人とのコミュニケーションを多くとることが...

澤田 阿矢加 ○ さわた あやか 学部生

私は自身自身の経験から、将来小児科の看護師に...

志賀 麻寿美 ○ しが ますみ 学部生

私は将来看護師として生死の境に立ち一人でも多...

鈴木 華奈 ○ すずき かな 学部生

私は助産師になりたいと思っています。かけがえな...

鈴木 華奈 ○ すずき かな 学部生

私の誕生の瞬間に立ち会いたいと考えているからで...

鈴木 華奈 ○ すずき かな 学部生

私は助産師として医療現場で活躍したいと考えて...

実習の学び

実習を終えての感想とその成果をお聞きしました。



基礎看護学実習Ⅰ
実習を終えて

看護学部2年 日下 亜友美

初めての大学病院での実習は、大変な緊張感とともにスタートしました。より良い看護を目指すため、対象の患者さんを理解するのはもちろんですが、本人が置かれている状況をも理解し、そこから内面的な強みを引き出し、生活面でのサポートを導き出すことが私の目標でした。実際、患者さんの気持ちに寄り添うということは簡単なことではなかったです。しかしそれに近づく為には、日々の会話による丁寧なコミュニケーションが必要とされると痛感しました。患者さんの抱えている様々な不安や病気に関する悩みを一緒に考え、理解していくことが今後の課題であると思いました。今回、沢山の方々のおかげで、未熟ながらも多くのことを学ぶことができました。深く感謝致します。

(くさか あゆみ)

基礎看護学実習Ⅱ



患者さんの「今」の生活を捉える

看護学部3年 佐藤 まどか

基礎看護学実習Ⅱにおいて、私は実習生として病棟に入院する一人の患者さんの受け持ちをさせて頂きました。そこで私が初めに考えていたケアは、その患者さんが抱える多疾

患をどのように看護していくかという点だけであつたのです。しかし、患者さんの入院生活に関わらせていただく中で、患者さんに必要な看護ケアは、入院生活をする上で困っていることや生じている健康問題などに添って援助するケアだということに気付きました。

つまり患者さんの過去の疾患に捉われず、「今」の主観的な気持ちや状態に寄り添ったケアをしなければならぬということに学びました。患者さんと関わらせていただく上で、これは私自身とても大切にしなければならぬ視点だなということを感じ、今後に生かしていきたいと思えます。

(さとう まどか)

地域看護学実習



地域看護学実習を通じての学びについて

看護学部4年 鈴木 麗

地域看護学実習では、看護職者が地域住民の健康の保持・増進・疾病の回復と予防のためにどのような活動を行っているのかということとを様々な役割や領域から学ばせ

て頂きました。特に私が参加させていた印象に残ったのが、育児・発達支援における保健師の母子との関わり方についてです。保健師はよりよい育児・発達支援の関わりを行うために、母親の思いを受け止め信頼関係を構築できる関わりを持ち、訪問などのきっかけを次の支援につなげることが出来るようにするなど対象との関わりを大切にしながら今後の関わりを見据えた援助を行っており、先を見据えた支援の大切さを学びました。

(すずき れい)

家族看護学実習



家族看護学実習を通して

看護学部4年 鈴木 愛

私は家族看護に関心があり、この大学に入学しました。今回の実習では、看護者の家族観で捉えるのではなく、家族の方が対象者をどのように捉えている

のかを把握し、その家族との関わりを活かしていくことが大切であることを学びました。また、在宅で療養されている対象者を最も近くで介護しているのはその家族であり、特に退院や在宅での療養への移行前後に対象者の家族は不安が大きく、家族が持つ強みを活かしながら看護者はその家族に継続的な関わりを行っていくことで家族の介護力や介護の負担の軽減を支えていく必要性を学びました。これらのことを臨床に出てからも忘れずに頑張っていきたいと思えます。

(すずき めぐみ)

障害看護学実習



退院後の生活を
見据えた看護

看護学部4年 鈴木 彩夏

私は障害者看護学実習を通して、入院時だけではなく、退院後の生活を見据えながら、対象者一人一人にあわせた看護を提供していくことの大切さを学びました。入院はその人の人生において、

わずかな時間ではかありません。退院後も生活は続いていきます。障害を抱えながらも、自分の生活を営んでいかなくてはならないのです。その人はこれからどのような生活を送っていくのか。仕事復帰を目指すのならば、まず何をできるようになるか。その人の今できること、できないことを見極め、残存機能を尊重しながら、できないことを代替機能で補えるようにかかわっていくこと。それがその人の生活再構築へ向けてなにより大切なことなのだ、実習を通して学ぶことが出来ました。

(すずき あやか)

新任挨拶



療養支援看護学部
井上 水絵

本年度より、療養支援看護学部門に着任いたしました。毎日、隣県からの長距離通勤をしていますが季節の花々や風景の移ろい、活気ある福島市街地の雰囲気を楽しんでおります。着任当初は緊張や不安もありましたが、教職員の皆様のお力添えを頂きすぐに慣れることが出来ました。

6ヶ月が経過した現在は、学生の皆さんと講義や実習を通じ接するなかで真面目さ、明るさ、そして福島を大切に思う気持ちをひしひしと実感しております。学生の皆さんが医大で得た学びは、看護の視野を広げ高度情報化専門化が急激に進む医療環境において社会に幅広く求められる人材となるでしょう。「医大で学んだ自信と誇りもつて社会で活躍できる」を念頭に、教育に携わりたいと考えております。

まだまだ至らぬことが多く不勉強を実感する日々であります。素晴らしい環境で働けることに感謝しつつ努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。(いのうえ みずえ)

新任挨拶



療養支援看護学部
佐藤 郁美

4月から看護学部の教員として働き始めました。3月まで郡山市の坪井病院に看護師として勤務してお

り、教員として働くのはこれが初めてです。臨床での経験をできるだけ学生に伝えたいと思いつつも、人にもものを教えることの難しさを日々実感しています。

私は福島市の出身ですが、就職の関係で会津若松市、郡山市そして福島市と福島県内あちこちで仕事をしています。同じ県内なのですが、その土地ごとの訛りや風習があり、その土地ならではの「あるある」を楽しんできました。例えば、郡山方面では新盆の家の庭には、屋根に届くぐらいの高さの竹を立てていました。竹の先端にはボンボリのような篋がついています。私はこれを見て建て前のお祝い(棟上げ)のときにお餅を撒く行事だと勘違いし、同僚に訂正されました。

異動を決めるころにはすっぴんかその土地の訛りが話し言葉となり、離れがたく、今も思い出しては懐かしんでいます。(さとう いくみ)

宜しくお願いいたします



家族看護学部
田村 達弥

本年度より、附属病院と本学部の人事交流として家族看護学部門(精神看護学)に着任いたしました田村と申します。私は本学部の6期生として、本大学の9期生として卒業しております。この学び舎に戻ってくるのは2度目となりますが、年を追う毎に見えてくる景色は異なり、知的刺激に満ち溢れている学び舎なんだなあと、その魅力を実感しております。学生時代を

過ごした環境の中、教員という立場に置かれることへの気恥ずかしさはありますが、私なりに感じている看護の面白さや奥深さを学生の皆さんに伝えていけたらと思っています。

ところで私は暇さえあれば温泉に行く、ラーメンを食べるとい生活しております。福島のおすすりめを知りたい方は是非お声かけ下さい。ドジで人見知りな私ですが、どうぞ宜しくお願いいたします。(たむら たや)

新任挨拶



家族看護学部
有賀 優加

本年度より家族看護学部門(精神看護学)に着任いたしました。本学部を卒業し、3年間精神科の急性期病棟で勤務していましたが、この度母校へ教員として戻って来ることになりました。私自身、看護師としてまだまだ未熟であると感じておりますが、看護の楽しさや素晴らしさ、この仕事のやりがいなどは3年間の臨床経験で伝えきれない程多く学んできたと思えます。

精神科看護の奥深さに没頭し、様々な人に出会い、その温かさに触れ、看護師としてだけでなく人間としてとても成長できたように思います。その経験も、今度は教える側として学生の皆さんへ還元していければ、皆さんが素敵な看護師になれる様にお手伝いできればと思っております。日々共に学び成長していきます。よろしくお祈り致します。(ありが ゆか)

よろしくお祈りいたします



基礎看護学部
國井 真由美

本年度より、基礎看護学部門に着任いたしました。着任する前までは、自己学支援、主に講義後の技術支援という形で約4年間お世話になりました。学生の皆さんとかわるにつれ、看護の奥深さ、看護の可能性を再認識し改めて、自分自身が「看護が大好き」という気持ちと、「学生さんの可能性への信頼」ということをつかんだように思っています。

新任挨拶



地域在宅看護学部
菊川 幸恵

私は本学部の9期生として卒業し、循環器内科に勤務しておりました。学生時代は実習も記録も勉強も大の苦手だった私が、教員として戻ってくることは、卒業時は全く想像もしていませんでした。母校に戻り、学生の皆さんと共に講義を聴いたり、演習を行ったりする中で、新鮮な学びや発見を得る毎日です。臨床の場では日々、忙しく業務に追われ自分自身の看護を振り返る余裕も

気力もなかったように思います。母校に戻り先生方や学生の皆さんとお話をするなかで、看護を通して自分が大切にしたいこと、もっと学びを深めなければならぬことが見えてきて、今まで以上に「看護が魅力的に感じています。新人教員として、学生の皆さんと共に学び、共に成長していきたい」と思っております。どうぞよろしくお願い致します。(きくかわ ゆきこ)

新任挨拶



地域在宅看護学部
鈴木 良香

4月より地域在宅看護学部門に着任となりました。助手の鈴木良香と申します。生まれは福島県の県南です。よろしく御願いいたします。職歴は、病棟看護師、地域の保健師を経て、専門学校の専任教員として勤務しておりました。大学教育は初めてであり、いろいろ戸惑うことも多く、先生方のご指導や学生の皆さんから日々学ぶことばかりです。

地域在宅看護学部門は5、6月と実習になります。実習場所は県内市町村で巡回は県内を縦横に走り回り、長距離運転手のような日もありました。そんな中からも、久しぶりに出身地に帰り、県内のことについて新しい発見をしながら、福島県の良さを改めて感じています。そんな地域での看護の必要性や大切さ、そして楽しさを伝えられるように、今後もご指導いただきながら、学生の皆さんと共に学び成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。(すずき よしか)



平成26年度 看護学部 オープンキャンパス



◎2014年7月6日(日) 13:00~16:00



【セッション1】 ◎学部長あいさつ ◎平成27年度入試の概要説明 ◎大学紹介

【セッション2】 ◎模擬講義『看護の、技術』 講師:丸山 育子(基礎看護学部門)

【セッション3】 ◎施設見学・体験コーナー ◎教職員・学生による質問相談コーナー



平成26年度福島県立医科大学看護学部オープンキャンパスが7月6日(日)に行われました。当日は県内外から高校生とその父兄を中心に約340人が参加しました。

前半の説明会では、真壁玲子看護学部長からの挨拶に続き、平成27年度入試概要の説明や看護学部3年生による大学紹介が行われました。さらに看護学部基礎看護学部門講師の丸山育子から「看護の、技術」というテーマで模擬講義が行われました。

後半には施設見学・体験コーナーと教職員・学生による質問相談コーナーが設けられ、参加者の高校生と父兄が実習室等で救急蘇生方法や新生児の沐浴、血圧測定などを体験しました。

多くの方が福島県立医科大学看護学部での学生生活を知り、進路選択に役立てていただければと思います。

鈴木 学爾(すずき がくじ)



模擬講義 『看護の、技術』を 終えて

基礎看護学部門

丸山 育子



オープンキャンパス模擬講義にたくさんの方が参加してくださいました。私は、「看護は対象やその家族の思いに沿うこと」だと考えています。単に対象の思いを引き出しその通りになることではありません。このことを2つの場面を出してお話しました。

ひとつは、対象を座位から立位にする場面です。対象の立ちたい思いに沿い、そして体の動きにも沿うのです。それは、体がどのように動くかを知り、そして対象の呼吸に合わせて支えるということです。支えられながらも対象が自分で立つことができたと感じてもらえるように援助する、それが『看護の、技術』です。参加した学生さんを指名して壇上で実演してもらいました。真剣に取り組んでくれました。

もうひとつは、看取りの場面です。写真集「赤ちゃんはじめての看取り」を読み、私の体験を織り交ぜながら話しました。

さて、看護のこと伝わったでしょうか。高校生のみなさんにとって看護について考えるきっかけになれば幸いです。

(まるやま いくこ)

編集後記

読書の秋である。

二ニュースによると、小学校の高学年から英語教育を本格的に実施することが決まったようだ。しかし、目的と方法がハッキリしないので、3年後も日本人の英語能力が向上するとは思えない。せめて大学の講義の半分は英語で行うことを義務化すれば、国際化の波に乗って行けるかもしれない。

それより大切なことは我が国の言葉たる「日本語」能力の向上であろう。言葉が時代によって変化することはやぶさかでないが、仲間だけが判る「メール語」や「テレビ語」の台頭は、日本人の「わかり合う能力」や「日本文化の基礎」を揺るがしかねない。日本の基礎は「日本語」である。看護学も医学も、全ての学問は基本が重要であることを肝に銘じて欲しい。

たまには、棚に埋もれている「基礎となる本」を読んでみるのも良いかもしれない。

編集委員長 林 正幸

◆編集委員

本多たかし、林 正幸、大崎 瑞穂、根本 紀子、鈴木 学爾、宮崎 恵美、池田真由美、須藤 久実、田村 達弥、鈴木 良香、有賀 優加